令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
教育理念・目標・育成人材像 基準1	1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	教育理念に沿った教育目的・育成人材像を掲げている。今年度より理念を基にしたアドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーをシラバス、学生のしおり、ホームページ等に明記することで関係者に周知している。カリキュラム改正に併せてDP達成に向けた進度における到達目標及びカリキュラム編成の意図が伝わるようシラバスにて表にしている。	3.0		3.0
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	卒業時に『看護師として生きる力』を身に着けるために各学年ごとに到達目標として身につく力を示している。また、それらは実習施設等関連業界から業界全体のニーズを把握し教育内容、手法に反映させている。カリキュラム改正にあたって人間関係形成の基礎となるコミュニケーション能力やICTの活用術、地域包括ケアシステムの構築にあたる多職種連携を学ぶ機会について具体性を持てるようカリキュラムに反映させている。	3.0		3.0
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	理念の具体化を図り、プロジェクト学習・ポートフォリオを活用した教育手法を取り入れている。また、本校独自の「身につく力」を明らかにして学年・授業（講義・実習）の達成目標を設定している。上級学年が下級生の支援を行う授業や行事を行うことで自己の理解と他者の尊重を深めている。今年度は新型コロナウイルスへの感染症対策として学生の登校人数の制限を行ったため、学生同士のふれあいにZoomを活用した。	3.0		3.0
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	学生に対しキャリア支援にて具体的な構想と道筋を自らで築けるよう促し、教員、臨地実習を通して「看護師」に何が求められているかを学ばせている。また、学校としても指導者会、研修会に参加していくことで情報収集を行い現場のニーズ、カリキュラムの変化に対応できるよう準備を行っている。	2.0		3.0
学校運営 基準2	2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	教育理念の実現に向け毎年運営方針を定めている。運営方針を外れることのないよう各委員会によって運営内容を検討し改善と評価を行っている。	3.0		3.0
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	毎年、年度初めに幹部職員にて管理会議を行い、理念に沿った事業方針と計画を定めている。また、運営を教員・事務員の混在した委員会が役割として担うことで理念達成に向けた運営を行っている。	3.0		3.0
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	法人として寄附行為に基づき定期的に理事会を行っている。そのなかで学校の運営状況の検証を行い法人としての運営方針を反映させている。	3.0		2.9
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	年度ごとに組織図の見直しを行い、必要に応じ、人員の変更、委員会編成の組み直しを行っている。今年度はカリキュラムの改正に伴い新旧実習が重なる期間が発生するため教員の増員を行った。また、役職やキャリアの現実に沿った内容となるよう、所掌業務の見直しを行っている。	2.7		2.8
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	就業規則に人事、賃金の構成について明記している。また、給与は毎年度定期昇給と業務実績を考慮し昇格昇給の査定も行っている。	3.0		3.0
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	組織図及び会議規定にて明確にし、整備している。運営方針に沿った運営を行うためカリキュラム・実習・広報・危機管理・業務改善について委員会を設置し、連携することで業務の見直し適宜行っている。	2.2		2.3

令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
	2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	成績・学籍の管理用にシステムを導入している。定期的なバックアップの取得とセキュリティ機器UTMを導入することによってネットワークのセキュリティを高めている。 管理システムは学生の情報について教員による入力が必要なためタイムリーな情報閲覧が難しいこと、数値のみの入力となっているため具体的な指導内容について活用できていないこと、またそれに伴い職員の作業時間が大きく生まれていることが課題としてあげられる。 また、今年度も新型コロナウイルス対策としてZoomを導入した遠隔授業、「メール連絡網」を使用して学生への伝達事項を教職員にも周知できるよう整備している。	2.3		2.6
	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に沿って定めている。知識を記憶するだけではなく応用し新たな知識を生み出せるよう自ら考える授業を展開している。また、それらを学校のしおり、臨地実習要項に明示している。	3.0		3.0
	3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学年ごとに明確に設定するとともに、卒業時に身につく力、期待する卒業生像を明示することにより今自分に何が足りていないか、何が必要かを自らが考え目的意識をもち学習できるよう指導している。	3.0		3.0
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	年度ごとに教務主任及び学年主担が中心となりカリキュラムの見直しと編成を行っている。また、今年度より行う新カリキュラムついては「新カリキュラム委員会」を中心に各科目の内容検討のみでなく、よりAP・CP・DPに一貫性を持ったカリキュラム構成となるよう検討を行った。	2.9		3.0
	3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	外部講師による授業についてのご意見、臨地実習施設ごとに行われる実習指導者会といった教育者からの意見を取り入れるとともに研究発表に外部の方を招きいただいた意見を教育課程に反映させている。卒業生の状況追跡は口頭での確認となりアンケート調査等は行えていない。	2.0	実習指導者からの意見は、学生個人の能力に対するものか教育課程の不備を指摘するものかの判断が難しいと聞く。可能であれば、卒業生が実感している事柄を反映できればと思う。	2.1
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	経済産業省における社会人基礎力の育成に基づいた本校独自のキャリアプラットフォームを作成しキャリア育成を実践している。	2.7	社会人基礎力はもちろん就職後長期間働けるだけの仕事に対する責任感や覚悟がより必要だと考える。	2.9
	3-9-4 授業評価を実施しているか	授業評価は当該授業の終了後期日を設け教員で行っている。 学生の授業アンケートは内部教員の講義のみ行っているが、個々の教員にとどまり共有はできていないため、共有の簡略化のためICTの活用を検討する。	2.0	授業評価は、受講を終えた学生にとっては無意味であるため、建設的な意見を得にくい面がある。そのため、得られた評価の中から、教員間で改善点を評価しあう体制作りが望まれる。	2.7
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	シラバスに成績評価の基準を明示し、学校のしおりにて学則・修了認定基準を示している。また、それらの基準を遵守し、単位認定会議にて運用している。	3.0		3.0
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	ケーススタディ、自分の看護観を題材にした発表会を毎年行っている。 また、3年次に代表者を選抜し関西看護研究大会にて研究発表を行っている。	3.0	学生の手により、自らが得た成果を廊下に掲示しているため、教員による成果の把握のみならず、学生間での理解の確認や進捗を実感する取り組みがあり、適切と感じる。	3.0
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置付けているか	看護師資格取得に向けた教育課程を編成し、「身につく力」「人物像」を明確にすることで資格取得後の「看護師像」まで追求できるよう指導体制をとっている。	3.0		3.0

令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	特別講座、補習やグループ学習を実施している 。 また、学内の空き教室を開放し自己学習に専念できるよう整備し国家試験担当教員と3年生担当教員が適宜個人指導できるよう教員を配備している。卒業後も学習が継続できるような支援をしている	2.8		3.0
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	教員資格を持つものだけでなく実習指導者として指導が行えるよう5年以上のキャリアをもつ看護師を教員として採用している。また、大阪府専任教員養成講習会に参加させることで専門分野の講義を行える人員を整えている。男女比、年齢構成に関しては検討を行っていく。	2.0		3.0
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	臨地実習での指導や研修の中で取り入れた情報を、領域担当に分かれ知識を共有している。また、教育ラダーに沿って面談を行い業界での適合性を確認している	2.3	教育体制の拡充のために必要な技術があれば、適宜、外部の専門家の研修を受ける機会を設けているため、資質向上に積極的であると感じる。	3.0
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教務主任を統括責任者とし、副教務主任、実習調整者によって現場を総括している。また、毎年マトリックスの見直しを行い、学年担当、領域責任者、所属委員会を明確にし組織体制を整備している。	2.9		3.0
学修成果 基準4	4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率向上のため教員による個別の面談・面接練習や就職ガイダンスを行うことで就職に対する意識の向上をはかっている。また、1年次よりプロジェクト学習を実施することで目標を自分で考え実践する力を身につけ、3年次には具体的な進路を定められるようサポートしている。就職率は進学を除いて100%を目標として掲げている。	2.7		2.8
	4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験合格率に関しても100%を目標として学生をサポートしている。模試の結果等からデータの収集と分析を行い、内容、対象者を絞り込んだ強化講座を行うことで全体の底上げを図っている他、学内テストから苦手ヶ所を割り出し、個人に対して的確な指導を行えるよう体制をとっている。また、計画的に国家試験対策模試を計画し、国家試験対策として領域別に学内教員による講義を行った。今年度は感染症の影響もあり、学生への直接的な指導体制をとりづらく、国家試験合格率が例年に比べ低くなった。合格率向上に向けて学生の学習意欲が保たれるよう個人に対するサポートを手厚くする。	1.9		3.0
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	実習病院に多くの卒業生が就職することから実習の中で確認し、情報収集を行っている。また、毎年ホームカミングデイを学校主催で開催することで就職1年目の学生から近況の報告を受けている。	1.5		1.5
	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学年担当教員と教務主任が協力して支援している。3年生全体にサポートが行き届くよう教員会議にて就職状況を共有している。個人に対応したサポートを厚くしているが就職講座など全体に向けた体制に関しても検討する必要がある。実習病院による病院説明会を2年生に対して行うことで就職への意識を高めている。	2.4		2.3
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学、休学の理由に進路変更、経済的理由が大きく割合を占めている。学生の就学年数が増えないよう未履修者、再履修者の状況を把握し面談にて学生に意識させるとともに教員間でもサポート体制を維持できるよう共有している。遠隔授業の影響もあり入学初年度の退学者が増加傾向にあるため学生のサポート体制、面談等による学生の意識確認を厚くしたい。	2.5		2.8
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	基本的には各学年の担当教員によって学生相談にあたっている。また、教員に相談しがたい内容にも対応できるよう専任のカウンセラーによる学生相談室を定期的に開いている。	3.0		3.0

令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
学生支援 基準5	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか（現在留学生が在籍なく非該当）	留学生からの問い合わせや入学実績は現状ないが、留学生以外の学生同じく学年担当の教員が対応する。	3.0		2.0
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	実習病院による奨学金のほか日本学生支援機構の奨学金の案内を行っている。学校独自の奨学金制度や授業料減免等の取り組みは現在行えていない。	2.4		2.5
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校医を選任し、健康診断を実施している。また、入学前血液検査の結果から学生の抗体値を把握し実習病院等での感染症防止のため適宜予防接収を受けるよう指導している。	3.0		2.9
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか（非該当）	学生寮などは用意していない。 学生の生活環境への支援としては教職員による生活面、経済面での相談支援を行っている。	0.0		0.0
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	クラブ活動等の課外活動の支援は行っていない。	0.0		0.0
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	入学時に保護者懇談会を行うことで教育方針や学校生活について説明しているが今年度は感染症対策のため行えていない。また、学生の学習状況、心理面等に問題が生じた際には教員が必要と判断した際に面談を実施するほか、保護者、学生からの希望があれば行われている。記録は必ず個人要録に記載している。	2.9		2.8
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	ホームカミングデイを行うことで就職1年目の卒業生から近況確認と相談を受ける機会としている。必要に応じ、図書室等の学校施設を解放している。	2.9	・卒業後は個人的な相談のような対応がモチベーションにつながるがサポートについては就職先での対応が必要であり卒業後に学校からのサポートを求めるべきでないと感じる。 ・3-9-2の評価項目とあわせて、どのような支援が求められているのか、求められていないのかを知ることが必要だと感じる。	2.9
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	開発・実施できていない。卒業後の学生に関して実習病院等から情報収集を行うことでプログラムの内容とニーズを調査する必要がある。	1.0	5-21-2の評価項目とあわせて、看護師全体の質や地位向上につながる支援であると感じるので、積極的な取り組みを期待したい。	0.6
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	既修得単位認定のほか、家庭環境から就学に問題のある学生に対しては就職や履修計画に関して個別相談を行っている。	2.8		2.8
教育環 基準6	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教室・実習室・図書室のほか授業内容に応じて選択できる教室の数を用意している。今年度は感染症対策のため各教室の人員を制限したため講堂、多目的教室に映像設備は設置し、使用教室を増やした。設備には劣化しているものもあり順次変更していく必要がある。また、4階まで学生の使えるスペースではあるがエレベーターはなく教室の入り口にも段差があるためバリアフリー化をより検討するべき状況である。	2.7	学生が常時使用できるパソコンを更新・維持管理し、インターネットや印刷も可能であり、機器等の不具合にも対処しやすい環境があると感じる。バリアフリーに関しては、実感して気づくことも多く、学習の点では施設の改善が必須とは思わない。	2.7
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	臨地実習は臨地実習要綱にて意義・目的を明確にし、実習病院の指導者と年4回の実習指導者会にて学生に対する指導の意見を交わすことでより効果的な教育が行えるよう体制をとっている。また、学生の実習アンケートから教員・指導者間で当該年度の実習を評価し次年度の検討につなげている。	2.9	適切と感じる。さらに、改善した内容を次年度の学生にも伝えることができれば、学生はその行為の意味をより理解しやすくなり、その改善内容を評価することも期待できる。	3.0

令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
6 境	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	自営防災組織と緊急時の業務分担を定めた危機管理マニュアルを整備している。多様な状況が想定されるためより検討が必要である。 今年度も新型コロナウイルスへの対策のため時差登校、教室使用人員の削減、遠隔授業の導入、手指消毒アルコールの増設といった対応と臨地実習に参加する教員、学生を他学年と同室になることの内容に配備しクラスター対策を行った。	2.2		2.2
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	監視カメラの設置、管理人による巡回により学内の防犯対策を講じている。また、学外において学生が何らかの被害にあうことに備え、保険加入の義務付け、連絡経路と担当教員を明確にしている。	2.4		2.4
学生の募集と受け入れ 基準7	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	学生に対しては高等学校にて開催される進学説明会に積極的に参加していることに加え、高校からの要望があれば看護師の職業説明を行っている。高校に対しては先述の進学説明会に加え入試情報・卒業生の近況を進路指導教員に対して行っている。また、キャリア支援発表の際には高校教員も招待し、卒業生の成長を確認していただく機会としている。直接の情報提供は近隣の高校のみとなっているのでそれ以外の学校にも情報提供の機会を作っていく必要がある。	1.7	受験生は進学先の国家試験合格率、就職先を進路検討に活用しているためホームページや資料での積極的な情報公開に期待したい。また、それらは最新のものが望ましい。	1.6
	7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	学生募集の時期を受験生の状況や入学準備に支障のないよう、吟味し設定している。また、入学試験の中で学生の人物像に関してもより評価できるよう検討している。広報活動については就職状況、国家試験合格率といった具体的な数値を明示し、本校の特色や学生生活がリアルに学生に伝わるよう行っている。今年度はオープンキャンパス・学校見学会を感染症に配慮し他形で来校型とした。受験生の増加に向けてより学校の情報をわかりやすく伝えられるよう次年度よりホームページ、パンフレットの変更する。	2.6	オープンキャンパスは来校型を望む受験生が多く、直接確認することは進学先への理解、学生・保護者の安心にもつながるため対策を講じた来校型の開催に関しても検討してもらいたい。	2.6
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学者の選考基準は規定に明確にし、公平に合否を判定している。試験内容・日程・必要書類・入試、入学にかかる諸費用などは募集要項に漏れなく明記し学生に伝えている。	2.8		3.0
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入試結果は試験、年度ごとに統計を取り受験者数の予測を立てている。入学者の学力情報を過去のデータと比較することで学習のサポート体制を整備している。	2.3		2.3
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	事業計画に沿った収支計画を立て毎年検討を行っている。学納金の内訳は募集要項、ホームページに明記している。	2.7		2.7
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	募集要項に入学辞退の際の手続きを明記し、適正に行っている。	3.0		3.0
	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	教育環境設備の保善、教育内容充実とサポートのための人件費が今後重なっていく見通しが中長期計画の中で立っていた。2020年度より学納金に項目として実習費及び模試代を含めることで収支のバランスを保つとともに、国家試験への対策を重ねるほか実習・学内でのサポートに力を注げるよう変更している。	2.5		2.5
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	法人経理部と会計士とともに行っている。	2.3		2.1

令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

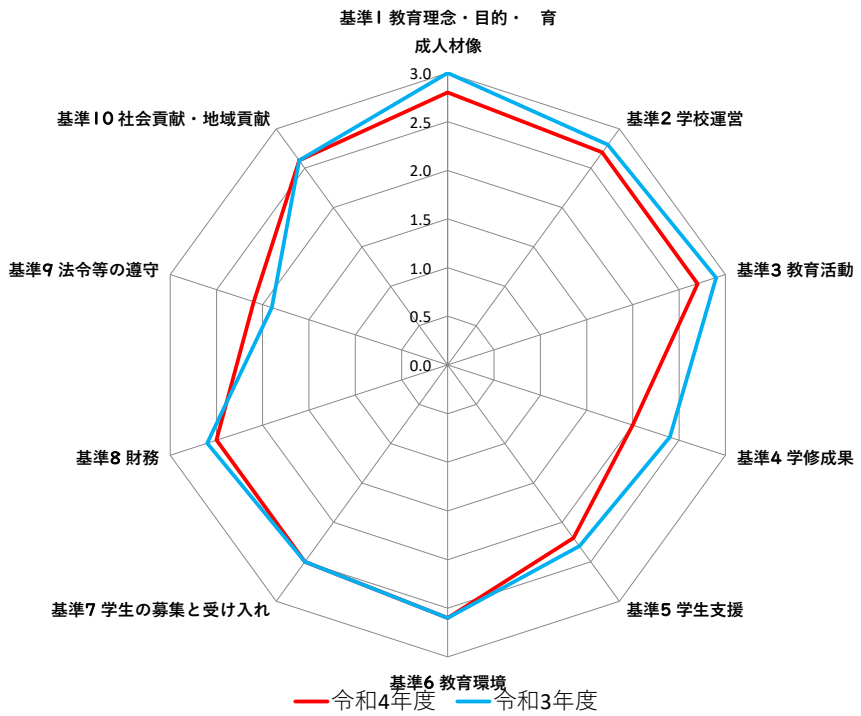
自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
基準8 財務	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	過去のデータと中長期的に必要となる費用から計画を立て単年度予算を策定している。	1.5		1.5
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算と決算の間に乖離が生じないよう計画を立てているが職員の退職・増税の影響による値上がりによって計画に訂正が必要になってきている。執行に関しては法人全体で適正に管理されている。	2.6		2.6
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	法人として外部監査を受け、報告書を理事会に提出している。	3.0		3.0
	8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務帳票・事業報告書は法人として大阪府府政情報センターにて閲覧できるよう提出している。ホームページへの掲載は行っていない。	3.0		3.0
基準9 法令等の順守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令、専修学校設置基準を遵守し適切に運営を行っているが人員の変動による運営体制の変化によって規定規則の内容に整備が必要となっている。	2.4		2.0
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	学校に保管される個人情報は、いずれも指定した施錠可能な場所に保管し、管理している。また、インターネットを介しての情報流出を防ぐため、ネットワーク機器の持ち出し制限、セキュリティソフト・機器の設置、管理者を指定することで防止策としている。学生に対しても情報管理についての啓発を講義に取り入れ、認識を深めている。職員に対する規定の見直し、研修を行う必要がある。	1.5	教員に個人情報保護を順守する意識が強いため、規定に則った運用や、新しい情報技術（昨今ではクラウドストレージサービスやネット印刷）についての理解がなされていると感じる。しかし、この対策は日々陳腐化する要素であるため、自己評価に示すように、教職員への啓発活動や研修の継続が望まれる。	2.2
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己点検委員会が中心となり年度ごとに重点目標の設定、目標達成に向けた実施計画・評価計画を立て評価結果をまとめている。前年度までは改善については業務担当者が主に取り組むこととなっていたところを来年度より各種委員会が担うことで課題と評価結果を教職員全体で認識していきたい。	2.3		2.3
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	本校ホームページ上で報告書を公開している。報告内容についてより多くの情報が伝えられるよう今年度より変更を行い、項目ごとに報告内容を記載する。	2.5		2.5
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	2020年度より自己点検結果より学校関係者評価委員会を発足し実施している。	2.0		2.0
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	2020年度より学校関係者評価をホームページで公表している。	2.0		1.0
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校概要、教育内容についてパンフレットに記載しているほか、最新の教育状況や学生の動向をホームページ、ツイッターやインスタグラム等のSNSにて公開している。また、看護研究の発表を保護者、実習指導者、学校関係者が観覧し学生の成長が感じられるよう発表会に招待しているが今年度は感染症対策のため外部の観覧は中止とした。	2.0		2.5

令和4年度　香里ケ丘看護専門学校　自己評価結果及び学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価委員会				学校関係者評価委員会	
区分	評価項目	自己点検自己評価内容	評価点	学校関係者評価委員からのご意見	学校関係者評価点
基準10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	卒業生、業界関係者に対して図書室の利用を許可している。また、高等学校で行われるキャリア教育の授業に参加することで看護師としての職業意義や実態を伝えている。	2.1		2.1
	10-36-2 国際交流に取組んでいるか	「看護の統合と実践」の中で国際看護の必要性、世界各国の保健医療の現状についての理解を深めているが学校として国際交流の支援は行えていない。	-		-
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	地域及び実習施設からボランティア活動の要望があれば学内掲示板等で周知している。学生に希望者があれば学校が窓口となり、必要があれば教員も同行し内容の把握と支援をしている。 新カリキュラムより1年次の強化外活動にボランティア活動を取り入れ、多職種とのかかわりや考え方を学ぶ機会を設けている。	3.0		3.0

令和4年度　自己評価結果グラフ

【大項目評価点】

項目	令和3年度	令和4年度
基準1 教育理念･目的･　育成人材像	3.0	2.8
基準2 学校運営	2.8	2.7
基準3 教育活動	2.9	2.7
基準4 学修成果	2.4	2.0
基準5 学生支援	2.3	2.2
基準6 教育環境	2.6	2.6
基準7 学生の募集と受け入れ	2.5	2.5
基準8 財務	2.6	2.5
基準9 法令等の遵守	1.9	2.1
基準10 社会貢献･地域貢献	2.6	2.6

【大項目評価結果グラフ】